

コムソモーリスカヤ通り（コムソモール単語の意味は共産青年同盟）は個人の一戸建てのある地区から始まり、全体の町を北から南まで通り、アラーリヤサハトリウムで終わります。1965年までにこの通りはパールコヴァヤ通り(公園通り)と呼ばれていました。1965年に共産青年同盟の40周年記念日にコムソモーリスカヤという名前をお付けすると決定されました。最初は市民はこの通りを習慣でパールコヴァヤと呼んでいました。前の名前はこの通りの中味を表現していました。この通りに位置している非常にきれいな公園は市民にとっても愛されています。公園の近くには庭付きの将校会館が位置してました。その他にこの通りの辺には少ない小屋と空き地がありました。

この空き地をきれいに直し始めたのは協賛青年組合者でした。後でスポーツ町になった空き地の周囲では若い木を植えました。

1957年10月にパールコヴァヤ通りでテレビセンターの建設が始まりました。この建設は1960年に終わり、市民はサハリンの最初のテレビ番組を見れるようになりました。

1967年4月22日にピオネール共産少年団会館（現代子供活動クラブ会館）が会館されました。この会館はこの辺にあった小屋の代わりに建てられました。

そして、無くなった小屋の住民はどこへ移動したのでしょうか。遠い所に移動する必要はなかったです。ゴーリコヴァ通り、コムソモーリスカヤ通りとコウムニシチーチェスキー通りで囲まれていた空き地は住宅地区になりました。この住宅地区には住宅だけではなく、中学校、幼稚園、貿易センター、プールのあるスポーツセンターも建設されました。

荒地とぼろぼろな家があった場所には新しい建物が建設されていました。8番と15番のマイクロディストリクトの建設が始まりました。テレビセンターの近くには5階建ての家があり、そのサイドにはレーニンのモザイク画があります。その下には1870-1970という日付があり、レーニンの100周年記念のために建てられました。これは1969年に建てられた15区の最初の家です。1982年、エメリヤーノヴァ・コムソモーリスカヤ・プルカーエヴァ・ミーラ通りの境界内で、9番マイクロディストリクトの住宅団地が開業されました。複雑なインフラを備えた広い住宅地は、驚くほど街を一変させました。

ペレストロイカが始まったことで、新しい嗜好が徐々に決定されています。90年代に国は本当のコテージブームを経験していました。いくつかのコテージは、互いに近くにあり、それぞれに別の入り口があります。そのような町はタウンハウスと呼ばれます。ユジノサハリンスクのタウンハウスの最初のサンプルは、ホリデー複合地区に建てられた住宅です。このタイプでは、サハリンエナジー社の従業員のためにアメリカ村も建設されました。プルカーエヴァとコムソモーリスカヤ通り交差点にあるタウンハウスも目を楽しませています。このタイプの住宅は裕福な人だけが利用できますが。

2007年には、1階にオフィスを持つ、やや変わった40アパートの住宅が、コムソモルスカヤ通りとプルカエヴァ通りの角に建設されました。これは一種の集合住宅で、ユジノサハリンスク市には類推がありませんでした。それ以前は、ユジノサハリンスクには事務所ビルしか建てられていませんでした。ここでは、海外プロジェクトの請負業者として働いている外国企業の従業員が住んでいて働きます。

この近くにある建物は1994年に建設されました。以前は、2008年に営業を停止したサハリン-ウエスト銀行がここにありました。1995年に、サハリン水産海洋研究所の生産と実験用の建物がコムソモルスカヤ通りに建設されました。この研究所はサハリン-クリル地域の水生生物資源の原料基盤を研究しています。

ユジノサハリンスクの本当の建築装飾はキリストの復活の大聖堂です。それはサハリンのミチェンコ建築家によって設計されたコムソモールスカヤ通りとコムニスチーチェスキー通りの交差点に建てられました。

1996年にプルカーエヴァ・コムソモールスカヤ通りの角ではキリスト長老派教会が建設されました。

ホテルのサービスはユジノサハリンスクで積極的に発展しています。都市のレクリエーション公園の領土にあるガガーリンホテルの複合施設は2000年に3階建てのホテルの建設で始まりました。そして4年後、外側には温室が突き出た9階建てのホテルが現れてきました。部屋数は24から80に増えました。

1989年に、ホテルヴォストクが運用されました(今ラダホテル)。有名なソビエト時代のホテルはホテルサービスのモデルでした。

コムソモールスカヤ通りはアラリア療養所の領土で終わります。アラリア療養所は、サハリン地方で唯一の療養所タイプの医療施設です。これは、5階建ての住宅、泥風呂付きの医療用ブロック、そしてダイニングルームの複合施設です。患者はイズメーンチヴォエ湖のユニークな海泥、海の塩の入ったお風呂を提供されます。リゾートでは現代的な治療法を使用しています。今日では、サハリン建築家のために療養所アラリアが造られたことを知っている人はほとんどいません(1984年)。建築業者のためのヘルスコンプレックスの形成の創始者は、市立病院アングデーノフ主任医師でした。アラリアの最初の主任医師はウラジミール・ピシクでした。

アラリア療養所の後ろにはユージノというレクリエーションセンターがあります。これは誕生日パーティー、記念日、結婚式、友人との出会いの場です。